

施策評価調書 目標年度(27年度)実績

施策コード Ⅲ-2-(1)

政策体系	施策名	県民文化の創造	所管部局名	企画振興部	長期総合計画(プラン2005)頁	125
	政策名	芸術・文化の興隆とスポーツの振興	関係部局名	企画振興部、教育庁		

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	多様ですぐれた芸術文化の鑑賞機会の提供と文化活動の環境づくり	県民参加による文化活動の促進と文化を支える人づくり	次代の文化の担い手づくり	新しい美術館の整備

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する取組No.	基準値		目標年度(27年度)			目標達成度(%)							
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	25	50	75	100	125			
i	大分県公立文化施設協議会加盟施設の主催行事来場者数(人/年)	①②③	H22	48,341	64,688	75,460	116.7%							
ii	県民芸術文化祭(主要行事・参加行事)参加者数(人/年)	①②③	H22	37,159	40,295	63,008	156.4%							
iii	大分県芸術文化振興会議が選定した芸術文化事業等の鑑賞児童生徒数(人/年)	①②③	H16	3,608	12,000	10,847	90.4%							

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等		平均評価
i	達成	公立文化施設の自主文化事業はもとより、民間事業者による文化行事の開催定着や新たな行事の誘致による貸館事業により、施設の稼働率も高まった結果、目標を達成した。	達成
ii	達成	それぞれの行事の参加者数も定着しており、県内各地で様々な芸術文化活動を展開した結果、目標を達成した。	
iii	概ね達成	NPO法人大分県芸術文化振興会議が実施する文化キャラバン、公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団が実施するピノキオコンサート等により、芸術家が学校等に直接出向き、小規模校等を中心に児童生徒に質の高い芸術文化を鑑賞する機会を提供することにより、目標を概ね達成した。	

【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・別府アルゲリッチ音楽祭や大分アジア彫刻展により、優れた芸術文化の鑑賞機会はもとより、国内外に対して最高レベルの芸術イベント開催地としての情報を発信できた。
②	・県民芸術文化祭の開幕行事では、主催団体が県民参加型の企画を新たに追加したり、来場者の交通手段を確保したりするなど、参加者にとって魅力ある企画にするための創意工夫がなされた。 ・おおいた文化のひろば創造事業では、高校生等が自ら創造し、発表する場を創出することができた。
③	・県立美術館開館に合わせ、県内の全小学生(60,947人)を県立美術館へ招待し、世界の巨匠や郷土作家の名品を鑑賞する機会を提供し、本物がもつ素晴らしさを体感してもらうことができた。
④	・雑誌やテレビなど、様々なメディアに掲載されるなど、国内外に大分県立美術館開館の周知が図られた。さらには、LCD賞や2015年度JIA日本建築大賞を受賞した。

【Ⅴ. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(27年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価
			総合評価
①	別府アルゲリッチ音楽祭開催事業	38,000	A
	大分アジア彫刻展	8,900	A
②	おおいた文化のひろば創造事業	21,889	A
④	芸術文化ゾーン拠点創出事業	90,000	A

【Ⅵ. 施策に対する意見・提言】

<p>○大分県新長期総合計画策定県民会議(H27.5)</p> <p>・新しい大分県や大分の産業を芸術文化を含めて考えていくことが必要。横串を刺し、従来型の文化芸術振興にならないことが大事。</p> <p>○大分県文化振興県民会議(H27.12)</p> <p>・若者に対する施策はもちろんのこと、高齢者や障がい者への対応も推進していく必要がある。</p>	<p>○大分県文化振興県民会議(H27.7)</p> <p>・大分県はそれぞれの地域が個性豊かで特徴的なものがあるので、これを県立美術館で定期的に紹介すれば、県立美術館の役割がもっと広がると思う。</p>
--	--

【Ⅶ. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	成果と今後の施策展開
A	<p>・県民参加による芸術文化活動や伝統文化を支援するとともに、別府アルゲリッチ音楽祭や大分アジア彫刻展など、世界レベルの芸術に触れる取組も進めてきた。この結果、最近では別府現代芸術フェスティバルや国東半島芸術祭など、県内各地で特色あるアートプロジェクトが広がりを見せている。また、H27には県立美術館が開館し、総合文化センターと合わせた芸術文化ゾーンが完成し、美術館を五感で感じていただくこと、開館初年度に県内の全小学生を招待したほか、来館者数が64万人を越えるなどの成果を挙げた。</p> <p>・今後も引き続き、県内各地において多彩で質の高い芸術文化活動が行われるよう、優れた芸術文化を鑑賞し、参加し、創造することができる環境整備の充実を図るとともに、将来の芸術文化の担い手や鑑賞者を育むために、若者や子どもたちの豊かな感性や創造力を育成する機会を充実する。さらには、本県の芸術文化を活かした文化プログラムの展開により、多彩な芸術文化に親しむ機会を充実させるとともに、本県の芸術文化の魅力を発信する。</p> <p>・これらに加え、芸術文化ゾーンを核として、関係団体や県下各地で展開されている様々な芸術文化活動等との連携を進め、ネットワークの構築を図る。また、芸術文化の持つ創造性を活用して、少子高齢化や人口減少社会、産業振興や人材育成など、社会的、経済的な課題に対応する。さらには、「創造県おおいた」を旨とし、核となる人材を育成するとともに、アート拠点や団体、市町村等と連携して、芸術文化の創造性を生かした地域づくりを推進する。</p>